

## 平成27年度 第2回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

### 会議の概要

開催日時	平成27年11月24日（火） 午前10時から11時45分
開催場所	沼田市保健福祉センター 3階研修室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p><b>【委員】</b> 大淵委員、岡田委員、小熊委員、○櫛淵委員、古池委員、◎小林委員、齋藤と委員、塩野委員、高井委員、庭野委員、林織委員、真庭委員</p> <p><b>【市関係者】</b> 西山健康課長、竹之内学校教育課長、木樽学校教育係長</p> <p><b>【事務局】</b> 後藤子ども課長、小池子育て支援係長、青柳保育係長、金井主任</p>
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（子ども課長）</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 会長及び副会長の選出について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 沼田市子ども・子育て会議について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 沼田市子ども・子育て支援計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 専門委員会の設置について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沼田市子ども・子育て会議について</li> <li>・ 沼田市子ども・子育て支援事業計画について</li> <li>・ 沼田市子ども・子育て会議 専門委員会設置運営要綱</li> <li>・ 今後のスケジュール</li> </ul>

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
	<p><b>1 開 会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b> 子ども課長</p> <p><b>3 委員自己紹介</b></p> <p><b>4 議 事</b></p> <p><b>(1)会長及び副会長の選出について</b> 沼田市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規定により、会長及び副会長の互選を行う。(小林会長、楢渕副会長を選出)</p>
会 長	(あいさつ)
副会長	(あいさつ)
	<p><b>(2)沼田市子ども・子育て会議について</b></p>
会 長	事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1「沼田市子ども・子育て会議について」により説明。
会 長	説明のとおり確認いただくことでよろしいか。
	<p><b>(3)沼田市子ども・子育て支援事業計画について</b></p>
会 長	事務局から説明をお願いします。
事務局	資料2「沼田市子ども・子育て支援事業計画について」により説明。
委 員	<p>計画を進めていくときに心にとめておいていただきたいことがある。</p> <p>最近聞いた話であるが、未就学児を3人育てている母で、1番下の子どもが保育園に入り職場復帰し、子どもが順番に体調を崩すので休みを取らなくてはならず職場に申し訳ないと思いながら働いている状況。最近、上の2人の具合が悪くて仕事を休み、1番下の子どもは通常どおり保育園に預けに行ったら「お母さんがお休みの日には保育はできません」と言われ、預けることができなかった。母は子どもの看病でほとんど寝ていない状態であったので、1人だけでも預かってもらえたら助かると思って園に連れて行ったと思う。この話を聞いたときに、まず、母の体は大丈夫かと思った。出生率1.8人を目指していても、母親が守られない状況が起こっている。保育園を責めているのではない。自分の経験からも保育園の先生方には、働きながら子育てをする母親のことを理解していただき、とても良く対応していただいていた。一定のルールは必要だと思うし、親が子育ての中心であることは確かであるが、だれかがちょっと手伝ってくれて、母親が1時間で</p>

も休むことができたというだけでも、もう1人産もうと思うかどうかという気持ちが変わってくると思う。今、子育てをしている母親がもう1人産もうと思うことで、(出生率の)パーセンテージは上がると考えると、予算は限られていると思うが、子育てをする母の健康や、母親が働くようになった分、仕事を余分に担うようになった保育士や保育園が守られるシステムが必要とされていることではないかと思う。

会 長 計画を策定するときに病児保育等については検討してきた経過があるので事務局から少し説明をお願いします。

事務局 病児・病後児保育を含め、計画はニーズ調査等の結果から必要量の推計と確保の方法といった内容となっているが、計画を進めるにあたっては数字の達成という観点だけでなく、子育てをしている父母の声を聞きながら現場が回っていくように努めていきたいと考えている。

会 長 計画の38ページに「病児・病後児保育」について記載があるので、これも見ておいていただきたい。

委 員 もちろん、病児を預ける所も必要だが、母が休みであっても母の負担を軽くするために健康な子どもだけでも預かってほしかった。中には、子どもを預けて遊びに行ってしまうというような保護者もいるかもしれないので、判断が難しいと思うが。本人にとってはたいへんなことだったと思うし、子育てが負担に感じる原因にもなる。困ったときに、相談窓口でくわしく話を聞いていただければと思う。場合によっては虐待につながることもあると思うので。

委 員 実際に今回のようなケースの場合、母親が仕事を休んだときには、上の子どもの看病のためであっても、下の子どもは保育園で預かってもらえないのか。

事務局 保護者が子育ての第一義的責任を有するというのもあって保育園利用には基準があり、園の考え方にもよるが、仕事を休んでいるときには保育ができる環境にあると判断しての対応と思われる。

委 員 園を責めているのではない。1つのケースを受けてしまうと他のケースも断れないといったことが起きるかもしれないということは理解している。先ほども言ったが、保護者が子どもを預けて遊びに行ってしまうということが起きるかもしれない。でも、今の全国レベルのスタンダードでいったら子育て中の母が自分らしい時間を有効に使うことも有意義だとされているのですが。

委員 ケースによって判断すると現場が混乱するということか。

委員 (事業者の立場から)基本は基本としてあり、あとは各園の状況で個別に対応していると思う。園長会等の場もあるので報告して理解を深めていくことはできると思う。実際には各園、各保育者の対応になっているので、個人の問題でなく全体の話の中で、例えば人を流動的に使っていくなど進めていければいいと思う。

会長 保護者への支援ということになると思うので、市でできること、園側の配慮など、それぞれの立場で検討していただきたい。

委員 (事業者の立場から)現在も、そういった状況のときには、おそらく各園でも預かりを断れないと思うので、受け入れる方向であると思う。

今、園長会等で話題になるのは、微熱があるときなどに休ませた方がいいのか保護者が判断できず園に判断を委ねられることが多く、「預かる、預からない」が園ごとの判断になることもあるのではないかと思う。また、延長時間をきっちり決めてあっても、お迎えの時間になって「今、高速(道路)に乗って(園に)向かっています」等連絡が入れば「時間どおりに迎えに来て」とは言えず「無理しないで」と言うであろうし、こういったことも各園の判断で対応していると思う。

会長 保護者の希望、園の配慮等、今後も良い方向へ進むように検討ができるよう関係機関の調整をお願いしたい。

では、事業計画については、今後、この会議で進捗状況を検証していくこととなっているので、よろしくをお願いしたい。

#### (4) 専門委員会の設置について

会長 専門委員会の設置については、先ほど、子ども・子育て会議の経過の中で事務局が触れていたが、条例に定めは無く、市子ども・子育て会議条例第7条に基づき会長が会議に諮って定める事項として設置したものである。前回までは主に公私立幼稚園の利用者負担(保育料)について検討し、子ども・子育て会議にかけ、市へ意見を提出した。今後の継続設置についてお諮りしたい。

委員 専門委員会の構成はどのようなメンバーか。

事務局 前回の専門委員会では、主に幼稚園、保育園のことについて審議いただいてきたが、まだ未審議の事項があるため、前回委員の次の方に引き継いでいただき、保育園、幼稚園、こども園の事業者と保護者の方をお願いしたい。

会 長	資料の「子ども・子育て会議専門委員会における審議事項」の2. 3について意見をいただきたいと考えている。
副会長	前回の専門委員会を担当させていただいたが、少人数で検討することで意見を出しやすい状況となった。子ども会議の委員の皆さんは、それぞれ、課題や意見をお持ちのことと思うが、全体の会議の場で、それぞれ出していただくのは難しいかと思う。会議で審議する前に小委員会に関係者が意見を交換することは有意義であると感じている。
会 長	<p>他に質問、意見等無ければ、継続して設置することをお諮りする。</p> <p>(異議なし)</p> <p><b>5 その他</b></p> <p>資料4「今後のスケジュール」により説明。</p> <p><b>6 閉 会</b></p>